

【第65回日本電気泳動学会シンポジウムのご案内】

毎年開催しております春のシンポジウムですが、今年は、北里大学理学部の小寺義男先生に主宰していただき、北里疾患プロテオーム研究会と共同で開催したいと思います（平成27年度の行事として開催いたします）。開催日程、プログラムは下記の通りです。万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

第12回北里疾患プロテオーム研究会

（平成26年度北里大学共同研究(AKPS)振興資金支援事業）

第65回日本電気泳動学会シンポジウム

日 時 平成27年3月18日（水）13:00～18:00
場 所 北里大学相模原キャンパス L1号館 32番教室
参加申込 不要（参加費無料）
主 催 北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター
共 催 日本電気泳動学会
後 援 日本プロテオーム学会
国際タンパク質化学構造解析・プロテオミクス学会

プログラム

開会の挨拶（北里大学理学部 小寺義男） [13:00-13:20]

北里大学におけるプロテオミクス研究 [13:20-14:30]

1. 「アガロース・アクリルアミド・ハイブリッドゲルを用いた高分子プロテオーム解析」（北里大学理学部 大石正道）
2. 「尿路上皮がんにおける腫瘍マーカーの探索」（北里大学医学部 松本和将）
3. 「当研究室における疾患プロテオミクス研究の現状について」（北里大学医療衛生学部 佐藤雄一）

招待講演 [14:45-16:45]

1. 「亜鉛の特性を利用したタンパク質翻訳後修飾の解析」(広島大学大学院医歯薬保健学研究院 木下英司)
2. 「次世代リン酸化プロテオミクスによるヒトリン酸化ストイキオメトリーの大規模解析」(京都大学大学院薬学研究科 石濱 泰)
3. 「コムギ無細胞タンパク質合成系を活用したウイルス複製阻止因子の探索」(横浜市立大学大学院医学研究科 梁 明秀)

特別講演 [17:00-17:50]

「疾患プロテオミクスからマスマスペクトロメトリー検査診断学へ」(千葉大学大学院医学研究院 野村文夫)

閉会の挨拶 (北里大学医療衛生学部 佐藤雄一) [17:50-18:00]

お問合せ 北里大学理学部 小寺義男 (koder@kitasato-u.ac.jp)

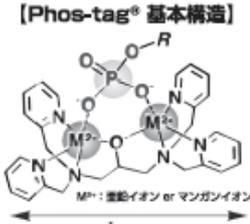
**りん酸化タンパク質研究の新ツール**

NARD technology  MANAC Incorporated

Phos-tag® シリーズ

What's Phos-tag®?

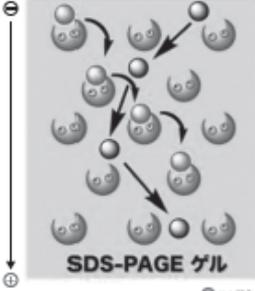
[Phos-tag® 基本構造]



M²⁺: 亜鉛イオン or マンガンイオン
~ 1 nm

Phos-tag® はりん酸化タンパク質を特異的に捕捉する画期的な機能分子で、りん酸化タンパク質のSDS-PAGEによる分離・精製・MS解析に使用できる製品をラインアップしております。

りん酸基アフィニティー電気泳動法の原理



SDS-PAGE ゲル

Phos-tag®

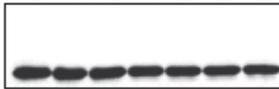
- りん酸化タンパク質 → 高い移動
- 球と同等分子重 → 低い移動
- 非りん酸化タンパク質 → 高い移動

【使用例】

Ablによるりん酸化反応の経時的変化の観察

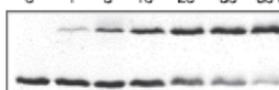
チロシンキナーゼAblと、その基質ペプチド(Abtide)とGSTの融合タンパク質を用い、ペプチド中のチロシンをりん酸化し、通常のSDS-PAGEとPhos-tag® SDS-PAGEで分離した。

0 1 5 10 20 30 60 (min)



通常のSDS-PAGE (CBB染色)

0 1 5 10 20 30 60 (min)



Phos-tag® SDS-PAGE (CBB染色)

Phos-tag® は、広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 医薬分子機能科学研究室にて開発されました。

ご購入に際し製品情報(適用法・保管条件など)のご確認は、当社総合カタログおよび検索サイト(siyaku.com)をご参照ください。

和光純薬工業株式会社

本社：〒540-8605 大阪市中央区道修町三丁目1番2号
東京本店：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目4番1号
営業所：北海道・東北・筑波・藤沢・東海・中国・九州

問い合わせ先
フリーダイヤル：0120-052-099 フリーファックス：0120-052-806
URL：<http://www.wako-chem.co.jp>
E-mail：labchem-tec@wako-chem.co.jp



サブマリン型アガロースゲル
電気泳動用装置

あいみらん

メーカー略号: CBJ

ゲルトレイと泳動槽にUV透過性あり

最大156サンプルの泳動が可能

ミニゲルもセット可能

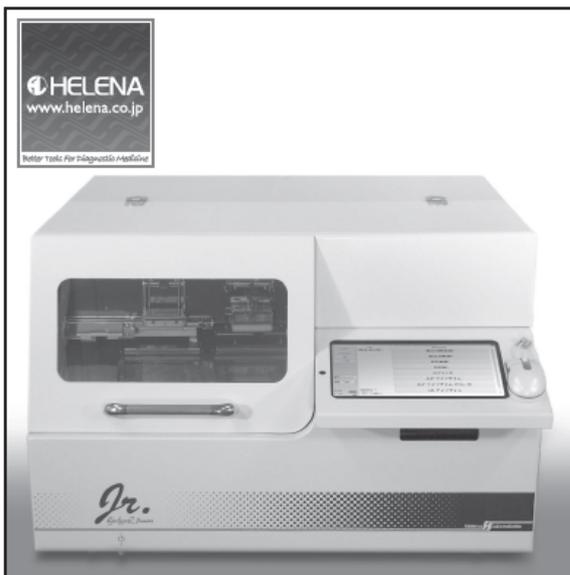
高い静音性

CE マーキング取得、UL 規格取得予定 (申請中)、特許出願済

ビビットオレンジが、
ラボを
明るくしてくれます



人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

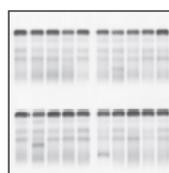


HELENA
www.helena.co.jp

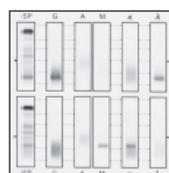
Better Tools For Diagnostic Analysis

蛋白分画・アイソザイムはもちろん
免疫固定法(IFE)も全自動処理!

多発性骨髄腫のフォローアップとして推奨されている
蛋白分画および免疫固定法を全自動で行う事ができ、
しかも従来に比べコンパクト・低価格を実現しました。



血清蛋白分画



免疫固定法 (IFE)

測定項目

蛋白分画
IFE(免疫固定法)
LDアイソザイム
ALPアイソザイム
(骨型ALP含む)
CKアイソザイム
AMYアイソザイム
コレトリコンボ
リポ蛋白分画

多項目全自動電気泳動分析装置

エパライザ2ジュニア

本社 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-21-19 株式会社ヘレナ研究所
☎048-833-3208 ☎048-833-3273

日本電気泳動学会企業会員

アドバンテック東洋 (株)

(株) エービーサイエックス

癸巳化成 (株)

コスモ・バイオ (株)

(株) 島津製作所

シャープ(株)

ナカライテスク (株)

(株) ナード研究所

日本エイドー (株)

バイオ・ラッド ラボラトリーズ (株)

(株) ヘレナ研究所

和光純薬工業 (株)

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局 (secretariat@jes1950.jp) 宛お願いいたします。